

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	片山 達也
評価者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	片山 達也

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	生涯スポーツの普及・振興	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	400,000 (H32)	351,845 (H28)	372,240 (H29)	B
施策2	競技スポーツの充実・強化	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (H32)	2,514 (H28)	2,552 (H29)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価			
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)	(年度)							
施策1	課題1	生涯スポーツ活動の推進	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(累計)	人	400,000 (H32)	351,845 (H28)	372,240 (H29)	1	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	県民	10,000	9,774	A	継続
								2	県民総スポーツ推進事業	県民	4,023	2,960	C	継続
	課題2	総合型地域スポーツクラブの創設を支援	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	市町	19 (H32)	13 (H28)	12 (H29)	3	広域スポーツ支援センター事業	県民	2,926	2,327	C	継続
施策2	課題1	競技力向上対策	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (H32)	2,514 (H28)	2,552 (H29)	4	選手強化事業	強化指定選手	192,900	192,750	B	継続
								5	高等学校運動部活動強化指定事業	指定運動部	20,000	20,000	B	継続
								6	中学生強化事業	中学選抜選手	7,500	7,500	B	継続
								7	科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,500	2,500	B	継続
							8	ふるさと選手タイアップ強化事業	強化指定選手	4,500	2,353	B	廃止	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	事業開始年度	H4	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職・氏名	主事	坪川 拓実		
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4382			

事業の背景・目的

過去2回(2011年、2015年)開催した日本スポーツマスターズ大会によって醸成された、生涯スポーツの気運の高まりを継承するため、19市町の参加のもとに、総合開会式や各種教室等を実施することで、本県の生涯スポーツの振興をより確かなものにする。

事業の概要

- 1 主 催 石川県
- 2 期 日 平成29年5月～6月 (中心開催期間)
- 3 参加者 約20,000人
- 4 内 容

- (1) 総合開会式 平成29年4月30日(日)
 (※総合開会式:43種目団体が4年に1回参加)
 会 場 : いしかわ総合スポーツセンター
 参加団体 : 11種目団体(約1,000名)、市町参加者等(約1,000名)
 内 容 : 大会長(知事)あいさつ
 選手宣誓
 アトラクション(手取亢龍若鮎組、Heart of One) 等

- 総合開会式終了後のプログラム
- ①種目別大会
ドッジボール、エアロビック大会
 - ②スポーツ交流教室
講師: 泉 栄子 氏 (Shake-Yoga Eiko 代表、ヨガインストラクター)
 - ③健康づくりプログラム
運動能力測定、AGE測定、健康相談

- (2) 種目別大会・協賛大会・ニュースポーツ体験広場
 43種目別大会(グラウンドゴルフ他)
 13協賛大会(総合型地域スポーツクラブ)
 7ニュースポーツ体験広場 (6市1町)

- 内 容 : 大会魅力アップ・参加者拡大への取組
 (取組例) 親子体験教室
 海外チームとの交流大会実施
 チラシ・ポスター作成、立看板・のぼり旗制作、
 大会参加記念バッジの配布 など

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	A			
課題	生涯スポーツ活動の推進	評価				
	指標	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数	単位	人		
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	400,000	292,692	307,996	325,570	351,845	372,240

事業費						
(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	5,075	5,075	5,075	10,000	10,000
	決算	4,870	5,024	4,676	9,655	9,774
一般	予算	2,002	2,984	2,666	7,591	7,591
財源	決算	2,002	2,917	2,574	7,246	7,377
事業費累計		197,278	202,302	206,978	216,633	226,407

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	A	大会活性化のための総合開会式の開催及び各種目団体・協賛大会開催クラブの協力による広報活性化などの取り組みにより、全体の参加人数は20,395名であった。種目別大会においては、前年度比で189名の減少であるが、参加選手数は43種目中27種目において増加しており、継続的に競技に取り組む方は増えている。 参加者は2年連続で2万人を超え、平成32年度大会で累計40万人達成という目標値を大きく上回る水準で推移している。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県間与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	県民のスポーツライフの充実を目指すため、県民の誰もが気軽に参加できる大会とし、継続して開催する。 また、大会の活性化を図るため、各種大会・スポーツ体験広場への参加団体及び市町数の増加促進とともに、各大会の参加者の増加のための広報活動にしっかり取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 県民総スポーツ推進事業	事業開始年度 H17	事業終了予定年度	作 組 織 スポーツ振興課
	根拠法令・計画等 石川の教育振興基本計画		成 職・氏名 主事 坪川 拓実
			者 電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4382

事業の背景・目的
 今後も、県民一人ひとりが、継続的な運動やスポーツを通じて体力向上を図り、健康で明るく活力あふれる生活を送ることができるよう、生涯スポーツ推進を図る。

- ・いしかわ302スポーツ運動
 日常生活の中で、継続的な運動やスポーツを習慣づけることにより、県民の体力向上を図り、健康で活力あふれる生活の実現に寄与する。
 30分以上の運動を週2回以上、継続して行う習慣を身につける。
 (1日2km以上のランニングやウォーキング、又は30分以上の運動を、週2回以上継続して行
- ・スポーツ推進審議会の開催
 設置目的: スポーツ振興に関する事項について、審議・協議し、県に答申等を行う。
 設置年月日: 昭和37年4月1日
 設置根拠: 石川県スポーツ推進審議会条例
 委員構成: 15名(任期2年)
- ・海外親善試合等出場選手激励費

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価				
課題	生涯スポーツ活動の推進	評価				
	指標 いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数	単位	人			
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	400,000	292,692	307,996	325,570	351,845	372,240
事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	6,694	11,374	6,574	6,353	4,023
	決算	6,595	11,238	6,310	6,186	2,817
一般	予算	6,694	11,374	6,574	6,353	4,023
	決算	6,595	11,238	6,310	6,186	2,817
事業費累計		161,677	172,915	179,225	185,411	188,228
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	C	いしかわ302スポーツ運動については、新聞広告により広報活動を行った結果、H29は212名の達成者の報告があり、県民の継続的な運動習慣の定着に一定の効果があつた。 ※達成者の推移 H29:212名、H28:184名、H27:173名				
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	より幅広い世代への運動習慣の定着を目指して、新聞広告等による周知に努めながら、継続して実施する。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	広域スポーツ支援センター事業	事業開始年度	H16	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ健康課		
成	職	氏名	主事 坪川 拓実		
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4382			

事業の背景・目的

地域のスポーツ振興のための方策として、総合型地域スポーツクラブの設立を促進し、運営をサポートする。クラブ設立・運営のためにクラブマネジャーの養成やスキルアップ講習会の開催、指導・助言を行う講師の派遣を行うとともにクラブアドバイザーを配置し、クラブ訪問や相談など、きめ細やかな支援を行う。また、スポーツ情報ネットワークにより、県民へさまざまなスポーツ情報を発信する。

事業の概要

- 1 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催
- 2 クラブマネジャー養成講習会
- 3 クラブマネジャースキルアップ講習会
- 4 クラブアドバイザー配置事業
- 5 文部科学省等への会議出席、県内巡回指導
- 6 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」の運用

これまでの見直し状況

平成16・17年度に国の広域スポーツ支援センターモデル事業を実施し、平成18年度よりは県単独事業として、広域スポーツ支援センター事業を行っている。

平成29年度より独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成金事業を活用して、県広域スポーツ支援センター内にクラブアドバイザーを設置し、クラブ訪問や相談など、きめ細やかな支援を行っている。

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価	C			
課題	総合型地域スポーツクラブの創設を支援	評価				
	指標	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	単位	市町		
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	19	12	12	13	13	12

事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	2,465	2,465	2,374	2,374	2,926
	決算	2,351	2,425	2,374	2,374	2,475
一般	予算	2,465	2,465	2,374	2,374	2,120
	決算	2,351	2,425	2,374	2,374	2,172
事業費累計		43,237	45,662	48,036	50,410	52,885

評価	
項目	評価
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">C</p> <p>H29年度より新たにクラブアドバイザーを設置し、未設置市町への普及啓発や設置済みのクラブの運営等に対する指導・助言を行っている。平成29年度は加賀市で新たにクラブ立ち上げとなった一方で、野々市市のクラブが団体の活動方針を変更し、総合型地域スポーツクラブとしての活動を停止した。 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」は、年間アクセス数が平成29年度も30万件を超えており、県民にスポーツ情報を継続的に発信することができた。 (H27:306,524件 H28:321,485件 H29:305,795件)</p>

今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">継続</p> <p>第2期石川の教育振興基本計画の施策の一つとして掲げている、総合型地域スポーツクラブの創設および運営支援については今後とも自主運営ができるよう指導助言していく。 また、平成29年度に設置したクラブアドバイザーを活用して、総合型地域スポーツクラブが地域スポーツの担い手として、継続的・安定的に運営できるように支援するために、個々のクラブにきめ細やかな指導・助言を行っていく。</p>
--	--

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	選手強化事業	事業開始年度	S38	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職	氏名	課長補佐 黒坂 昭弘		
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378			

事業の背景・目的
国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。「岩手国体」での天皇杯得点順位36位を踏まえ、短・中期的な計画のもとさらなる上位入賞、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を図る。

事業の概要

1 選手強化事業
(1) 目的 国民体育大会で実施される41競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(2) 成年強化事業
ア 基礎強化 対象者 41競技803人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等
イ 重点強化 対象者 過去2回(70,71回)の国体で実績ある競技団体
内 容 北信越大会で実績のある競技団体
県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

(3) 少年(中・高)強化事業
ア 基礎強化 対象者 38競技701人(監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等
イ 重点強化 対象者 過去2回(70,71回)の国体で実績ある競技団体
内 容 北信越大会で実績のある競技団体
県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	
課題	競技力向上対策					評価	
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位	人
	目標値	現状値					
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	3,000	2,066	2,138	2,437	2,514	2,552	
国民体育大会	目標	20位台前半	同左	同左	同左	同左	
総合順位	実績	16	29	36	28		

事業費						
(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	190,200	190,200	190,200	192,900	192,900
	決算	190,200	190,200	190,200	192,366	192,750
一般	予算	190,200	190,200	190,200	192,900	192,900
	決算	190,200	190,200	190,200	192,366	192,750
事業費累計		6,176,571	6,366,771	6,556,971	6,749,337	6,942,087

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	国民体育大会天皇杯順位は前年を上回る28位であった。国際大会や全国大会において、本県代表選手が優勝、入賞を果たすなど、競技力の向上に寄与しており、本事業は有効である。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県間与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県スポーツ界全体の発展に向け、引き続き、国体41競技における選手強化に加え、それ以外の競技団体の組織強化にも取り組む。

備考 期 間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 一貫指導ジュニア育成事業
(1) 目的 作成した一貫指導プログラムを基にジュニア競技者の育成を図り、競技力向上につなげる。
(2) 対象 指定6競技団体 ボウリング、ホッケー、ボクシング、山岳、銃剣道、なぎなた

3 体育団体組織強化事業
(1) 目的 国体開催以外の各競技の組織及び選手強化事業を実施
(2) 対象 15団体
綱引連盟、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング協会、ゲートボール協会、パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、パイアスロン連盟、マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協会、バウンドテニス協会、ボールルームダンス連盟、ダンススポーツ連盟、バトン協会

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 高等学校運動部活動強化指定事業	事業開始年度 H4	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 石川の教育振興基本計画	

作成者	組織	スポーツ振興課
	職・氏名	課長補佐 黒坂 昭弘
	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378

事業の背景・目的
 全国高体連が主催または共催する全国大会等で優秀な成績を収めるため、選手育成の拠点となる県内高等学校運動部等を指定し、強化を推進するとともに、重点強化選手の指定により、集中的な強化を図る。

事業の概要

- 指定期間**
平成29年4月1日～平成30年3月31日
- 指定方法**
県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県民文化スポーツ部で審査の上、県民文化スポーツ部長が指定

3 支援内容
 指定された運動部が実施する県内合宿や県外遠征等に係る経費を補助

4 指定基準
【強化指定事業】

<団体>
 A指定
 平成27年度、28年度いずれも、全国大会で団体8位以内の入賞実績があること
 B指定
 平成27年度、28年度のいずれかで、全国大会で団体ベスト16位以内の実績があること
 C指定
 平成29年度の北信越高校体育大会で優勝の実績があること

<個人>
 A指定
 平成27年度、28年度のいずれかで、全国大会で4位以内の入賞実績があり、平成29年度に当該校に在籍していること
 B指定
 平成27年度、28年度のいずれかで、全国大会で8位以内の入賞実績があり、平成29年度に当該校に在籍していること

<駅伝強化>
 平成29年度 全国高校駅伝大会出場資格を有すること

【重点強化事業】
 別途指定した競技の中から、県民文化スポーツ部と県高体連が協議の上、重点強化選手を指定

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化					評価
課題	競技力向上対策					評価
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位
	目標値	現状値				
	平成29年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3,000	2,066	2,138	2,437	2,514	2,552
強化対象競技数	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	27	29	28	25	28	
事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
	決算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
一般	予算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
	決算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
財源	予算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
	決算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
事業費累計		550,000	570,000	590,000	610,000	630,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	平成29年度は強化費の早期配分や団体C指定を取り入れたことで、全国高校総体の入賞者数(35)が昨年(23)を上回ったことにつながったと考えており、本事業によって、県内高等学校運動部活動の強化が図られている。
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県間与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	高校運動部活動は、毎年主力となる3年生が卒業し新たに新入生が加わるため、継続して強化していくことで、全国大会等で好成績を収めることや運動部活動の活性化につなげる。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	中学生強化事業	事業開始年度	H5	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作 成 者	組 織	スポーツ振興課			
	職・氏名	課長補佐 黒坂 昭弘			
	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378			

事業の背景・目的
 全国中学生大会等において優秀な成績を収めるとともに、将来、国民体育大会少年の部選手、成年の部選手として活躍できるように、計画的に強化育成し、競技力の向上を図る。

事業の概要

1 強化事業

(1) 実施競技
 県中学校体育連盟に加盟の18競技

(2) 対象
 県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者

(3) 内容
 県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費
 県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

2 重点強化事業

(1) 実施競技
 重点強化競技に指定した5競技(相撲、柔道、ソフトテニス、スキー、水泳)

(2) 対象
 将来、国民体育大会等で中心選手として活躍が期待出来る選手で、競技団体及び中学校体育連盟各専門部が選抜した者

(3) 内容
 科学トレーニングの活用および競技団体のハイレベルな指導力を有する指導者と県中学校体育連盟各専門部が連携し、強化合宿、強化練習等を計画・実施

(4) 経費
 科学トレーニングや競技団体と県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

施策・課題の状況							
施策	競技スポーツの充実・強化					評価	
課題	競技力向上対策					評価	
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位	人
	目標値	現状値					
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	3,000	2,066	2,138	2,437	2,514	2,552	
北信越総体	目標	34	34	34	34	34	
優勝数	実績	19	13	21	24	24	
事業費							
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
	決算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
一般	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
財源	決算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	
事業費累計		128,134	135,634	143,134	150,634	158,134	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	北信越大会での優勝数は、昨年度の21(団体7、個人14)から24(団体6、個人18)と増加し、2年連続で優勝数が増加している。また、全国中学駅伝においては、男子が過去3番目の21位、女子も入賞まであと一步の9位となるなど、本事業の実施により、県内中学校運動部活動の強化につながっている。					
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	中学生強化は、ジュニア選手の育成のみならず、高校生や成年の競技力向上を図る上で、欠かせない取り組みである。国体においても中学3年生が参加できる競技が増えており、チーム石川の長期的な競技力の維持・向上のためにも、この事業を継続して実施していく。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	科学的トレーニング特別強化事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職	氏名	課長補佐 黒坂 昭弘		
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378			

事業の背景・目的

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

事業の概要

- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手100名
- 2 内容
 - (1) 講師招聘による研修会
 - (2) 基礎体力測定
 - (3) 専門測定・分析
 - (4) トレーニング処方作成・提示
 - (5) トレーニング実践指導
 - (6) 国立スポーツ科学センター(JISS)との連携

※年2回、基礎体力測定・専門測定を実施し、トレーニング処方を作成
※トレーニング処方に基づいた専門指導の実施、コントロールテストの実施

 - (7) アスレティックトレーナー活用によるコンディショニング指導

※強化練習、合宿時に怪我をしない体づくりの指導、スポーツマッサージ等
※競技者の健康管理、及び怪我をしない体づくりを目指したトレーニングメニューの計画・立案・指導
- 3 会場 いしかわ総合スポーツセンター
- 4 期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化					評価
課題	競技力向上対策					
指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位	人
目標値	現状値					
平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
3,000	2,066	2,138	2,437	2,514	2,552	
事業費						
(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
	決算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
一般	予算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
財源	決算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
事業費累計	17,040	19,040	21,740	24,240	26,740	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性(費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	愛媛国体で成年女子ハンドボールの5連覇をはじめ、少年女子ライフル射撃で日本記録を樹立しての優勝、少年男子ウエイトリフティングで2名が優勝、少年男子水泳(水球)2位、少年男子水泳(飛込)2位など、本事業による強化選手が成果をあげている。専門グループ員の指導、アスレティックトレーナーによるコンディショニング指導、JISSとの連携を充実させ、選手の体力向上、心身のケア、栄養指導など、科学的トレーニングの各分野を有効活用し、競技力向上につなげている。				
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	専門家による、最新の科学的根拠に基づいた指導を、各種競技特性に応じて実施し、多方面から選手をサポートしていくことが、効率的に競技力を向上させる上で必要不可欠である。さらに、アスレティックトレーナー等を活用した選手のコンディショニング指導を有効活用することにより、選手の高いパフォーマンスを最大限に引き出すことができることから、この事業を継続して実施していく。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ふるさと選手タイアップ強化事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	H29	作 組 織	スポーツ振興課
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職 氏 名	課長補佐 黒坂 昭弘
						者 電 話 番 号	076 - 225 - 1392 内線 4378

事業の背景・目的

県内選手と県外企業・大学に所属するふるさと選手との交流を促進し、ふるさと意識を高め「チーム石川」の結束を強めるとともに戦力をより充実させるために、競技団体が実施する県内合宿や合同練習会に参加するふるさと選手に対し旅費を補助する。

事業の概要

1 内容 (1) 得点獲得が有望なふるさと選手(一般・大学生)の活用事業
 ・ふるさと選手と地元選手の合同合宿の補助(旅費の補助)

(2) 対象: ふるさと選手(一般・大学生) 20名程度

2 会場 各練習会場

3 期間 平成28・29年の2年間(福井国体前まで)

※ふるさと選手制度 ・成年種別の選手は、居住地を示す現住所、勤務地、ふるさと(卒業中学校又は、卒業高等学校のいずれかの所在地に属した都道府県)から国体出場できる。
 ・制度を活用し、参加を希望する選手は「ふるさと」登録する。
 ・一度登録した「ふるさと」は変更することができない。

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化					評価
課題	競技力向上対策					
指標	スポーツ指導者(有資格者)数				単位	人
目標値	現状値					
平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
3,000	2,033	2,600	2,138	2,514	2,552	
国民体育大会	目標	20位台前半	同左	同左	同左	
総合順位	実績	16	29	36	28	
事業費						
(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算			4,500	4,500	
	決算			4,500	2,353	
一般	予算			4,500	4,500	
財源	決算			4,500	2,353	
事業費累計		0	0	4,500	6,853	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)	B	ふるさと指定選手20名のうち16名が本国体に出場し、その内12名が入賞し40点を獲得した。(H28:25点) また、ふるさと指定選手とタイアップ(合同練習や合宿)した地元選手が本国体に出場し好成績を収めることができた。 ふるさと指定選手の高い競技力や最新の練習法など、地元選手の競技力向上に効果があった。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、果敢とのあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	廃止	ふるさと選手の活用が競技力向上に資することが確認されたことから、今後は、競技団体の自主財源で引き続きふるさと選手を活用し、国体での入賞につなげる。				